

2026年1月5日

城北信用金庫に総合信託業務システム「TrustPORT」を提供

～ 信用金庫業界で初の信託業務参入を支援～

BIPROGYは、城北信用金庫（本部：東京都北区、理事長：大前 孝太郎氏）に、総合信託業務管理システム「TrustPORT（トラストポート）」を本日から提供を開始します。

BIPROGYは、1970年代から40年以上にわたり、信託銀行や信託会社など数多くのお客さまに、信託業務システムを提供しています。

城北信用金庫は、信用金庫業界で初めて信託業務を本日から開始します。信託業務の事務負担軽減、事務処理時間の大幅な短縮、オペレーションリスク軽減を図るうえで「TrustPORT」の導入が有益と判断し、採用に至りました。

【背景】

昨今、少子高齢化や個人金融資産の高齢者偏在などを背景に、財産承継を円滑に行う手段として個人信託商品のニーズが高まっています。これまで、個人信託において、あらかじめ指定した相続人に金銭を支払う遺言代用信託が一般的でしたが、認知症患者の増加に伴い、親族や法曹関係者に財産管理を任せることができる「解約制限付信託」や、単身高齢者の増加に対応した、個人が遺言によって遺産を公益法人やNPO法人などの機関に寄付できる「遺贈寄付信託」も注目されています。

このように、高齢化が進む地域社会において相続や財産管理への関心が高まる中、城北信用金庫では相続に関するトラブルを未然に防ぎ、お客さまの円満かつ円滑な資産承継の実現をサポートすることを目的に、信託業務への参入を決定しました。

【城北信用金庫の「TrustPORT」採用ポイント】

1. 信託会計業務だけでなく、個人信託業務にも対応可能

汎用的な信託会計管理が可能な「信託会計システム」だけでなく、遺言代用信託などの機能を具備した「個人信託システム」も実装しています。

2. 受託財産管理が容易

信託契約ごとの信託会計管理と、それを反映した報告書作成機能、各種税務帳票作成機能などが具備されているため、コンパクトな陣容で受託財産管理を行うことができます。

3. 信託業務拡張時の迅速な対応が可能かつ既存業務のデータ移行も容易

汎用的な信託会計管理が可能な「信託会計システム」と信託業務ごとの「事務管理システム」で構成されているため、将来的な信託業務拡張時の迅速な対応が可能で、既存信託業務のデータ移行も容易です。

4. SaaS 提供および制度変更対応

SaaSでの提供により、短期間での導入および低料金でのシステム利用を実現し、本番稼動後の維持管理コストも抑制できます。また、当局宛報告書の様式改定など各種制度変更への柔軟な対応も期待できます。

【総合信託業務管理システム「TrustPORT」の特徴】

1. 幅広い信託業務の事務処理が可能

汎用的な信託会計管理が可能な「信託会計システム」と、信託業務ごとの「事務管理システム」で構成されており、「信託会計システム」をベースに幅広い信託業務の管理が可能です。

2. 拡張性があるため迅速な信託事業拡大を支援

「個人信託システム」以外にも「金銭債権信託システム」や「不動産信託システム」といった事務管理システムを有しており、信託業務拡大時にも迅速な対応を支援できます。

3. 新規信託事業参入支援からシステム提供まで総合的なサービスを提供

長年にわたる信託業務システムの提供で培った豊富なノウハウに基づき、信託事業参入前の検討支援から信託参入後のシステム提供までをトータルで支援できます。また、新規信託免許取得申請などの際に、コンサルティングサービス「認可申請支援サービス」の提供も可能です。

【今後の取り組み】

信託市場は、信託財産総額が1,800兆円を超えるなど右肩上がりに成長しており、信託事業に参入する企業も相次いでいることから、「TrustPORT」の導入企業も増加しています。

今後もBIPROGYは、相続や事業承継といった資産の保全や、資産の戦略的活用といった社会的課題を解決する手段として、昨今ニーズが高まっている信託スキームに対し、豊富な経験とノウハウに基づき、DXを推進し、お客様の信託業務を支援していきます。

【総合信託業務管理システム TrustPORT 概要図】



以上

城北信用金庫 <https://www.johokubank.jp/>
(本部：東京都北区、理事長：大前 孝太郎氏)



城北信用金庫

私たち城北信用金庫は、金融・非金融の両面から多様な価値をお届けすることにより、地域活性化に貢献することを基本理念とする金融機関です。

■城北信用金庫で提供する商品：

- ・シニア向けライフサポート「結」
- ・じょうほく遺言代用信託
- ・じょうほく遺言信託
- ・じょうほく遺産整理業務

■関連リンク：

総合信託業務管理システム「TrustPORT」
<https://www.biprogy.com/solution/service/trustport.html>

※TrustPORT は、BIPROGY 株式会社の登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

https://www.biprogy.com/newsrelease_contact/

BIPROGYグループの「経営方針（2024-2026）」

「持続性のある事業ポートフォリオ確立による企業価値の向上」、「経営資源配分の最適化」、「グループ経営基盤の強化」の3つの基本方針を基軸に、「コア事業」と「成長事業」の両輪で事業拡大を図ります。



【コア事業での取り組み】

BIPROGY グループが経営方針(2024-2026)で掲げるコア事業戦略として、五つの注力領域を定め、経営資源の集中により高い価値提供を目指します。本ニュースリリースの事業は、「ファイナンシャル領域」における取り組みと位置付けています。

BIPROGY グループは、多くのステークホルダーとの共創を通じて、地域経済の活性化を支援し、持続可能な社会の実現を目指します。

※BIPROGY グループ経営方針（2024-2026）

<https://www.biprogy.com/pdf/com/managementpolicy2024-26.pdf>